

日中に病院に来られないので、夜間に開いている救急窓口に来る者について、病院側では夜間窓口は救急患者のためだから、救急でない人は来ないでほしいと主張する。しかし、一部の患者は病気だから仕方がないし、重病かどうかわからないのだから病院に来るのは仕方がないと主張する。スーパーや商店では品物を販売し、病院は医療を販売する点では同じであるから文句をいうのはおかしい、病院は患者を断るのはおかしい、という理屈である。

しかし一部の患者の主張には、①今の医療制度に対する無理解がある。24時間コンビニなら、店員は3交代制か、少なくとも2交代制である。医師は翌日も平日勤務で休みなどない。医師が2交代制をとる勤務体制をとれば、今でも赤字の夜間救急体制は一層の赤字になる。安い医療費で救急医療が立ちゆかなくなり、救急病院が減少し、疲弊した救急医も現場から去っているのが現実である。今の医療体制の中では、本当に困っている人のために不必要な夜間診療を避けることが必要なのである。②医療は商品販売でもないし、一般のサービス産業とは異なる。患者は場合によっては生命の危機に陥っており、医療者はその立場を思いやって接しなければならない。だから、病院は患者の診療を拒否したらいけないのである。このことを逆手にとって、いつでも患者を診るという論理は、医療をスーパーマーケットで手に入る商品、お金を払いさえすれば手に入る商品、とみなすことになるのを患者サイドは知らなければならない。もしそうなれば、医療も商売となり、やらなくてもよい医療でお金儲けをする犯罪も生まれる。誌面の制限があるので詳述はできないが、「患者様」と病院側が呼ぶことがこのような誤った主張の原因を作る一端にもなっていることを反省しなければならない。

このような混沌の時代には、医療は医の原点に帰らなければならないと思う。

(東原英二)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第13巻 第2号) 2008年4月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1部定価 2,940円 (本体 2,800円 + 税 5%) となります。

2008年 年ぎめ予約購読料：17,160円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当：佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2008, Printed in Japan

発売：株医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：藤田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。

エディトリアル	清水一雄	日本医大外科
1. 内視鏡下の良性甲状腺腫手術	池田佳史・他	帝京大外科
	鈴木慎一・他	福島県立医大第 2 外科
2. 内視鏡下の悪性甲状腺腫手術	五十嵐健人・他	日本医大外科
	原 尚人・他	筑波大外科
3. 内視鏡下のバセドウ病手術	佐々木章・他	岩手医大外科
	山崎眞一・他	徳島市民 H 外科
		(この他、数編を掲載予定)